

高口ようこ

かわら版
@
江古田
Ekoda

こどもと、
未来のこと。



はじめまして、高口ようこです。
住んでいるまちを大切に。皆さんのお声を
しっかり受け止め、届ける議員を目指します。



YOKO KOGUCHI

高口ようこ
だから
できること

- ママに身近な議員に！
- 区政をわかりやすく！
- 多世代をつなぐ！



こうぐち
高口ようこ（旧姓：荒川）プロフィール
練馬区議会議員補欠選挙・予定候補（市民の声ねりま）
1980年、桜台に生まれ育つ。現在は小竹町在住。開進第三小・中、都立大泉高校と練馬で青春を過ごし、
自他ともに認めるねりま愛を育む。慶應義塾大学文学部卒。現在はフリーのライターとして、子育て・
教育分野、練馬地域の取材など活動の場を広げる。

多世代が、ゆるやかにつながるまちにしたい！



息子が1歳の時、3.11が…
顔の見えるつながりの大
切さを痛感しました

江古田で育つ

桜台で生まれ、開三小に通っていた私は、江古田でピアノを習い、友達と遊び、小竹図書館や栄町児童館に通いました。江古田の文化に、育てられました。

江古田で子育て

上の子が生まれ、小竹に住み始めました。栄町児童館で遊び、「黄色い電車」を見にお散歩。そしてランチや夕飯のお買い物…。子育ても、江古田です。

江古田にこだわる

イベント「こたけあそび」、親子のあそび場「こたけひろば」などの地域活動に参加。旭丘では、「自分らしい働き方」という講座も仲間と共に開催。まちをもっとあったかくしたい！

提案！ 少子高齢化の時代…

安心して暮らせる 在宅医療・介護の充実を

一昨年、末期がんの夫を看取りました。在宅医療・介護を受け、夫は前日まで自宅で過ごすことができました。最後まで、住み慣れた自宅で、望む暮らしができるように。在宅医療や介護を、充実させていきます。

提案！ 栄町保育園等の老朽化…
建替えで、地域の拠点に

昭和47（1972）年築で、エレベーターもない栄町保育園・敬老館・児童館。保育園を守りつつ、多世代交流施設など、地域コミュニティの拠点に。アイディアを出し、一緒にまちを作ていきませんか？

提案！ 居場所が少ない…
アートなまちづくりを！

文化があると、住む人のまちへの“愛着”が育まれる。文化、芸術は、まちづくりのキワードです。空き家をアーティストに提供するなど、「暮らし」と「はたらく」と「まち」をつなげる取り組みを推進していきます。

区議会議員 池尻成二も
応援しています！



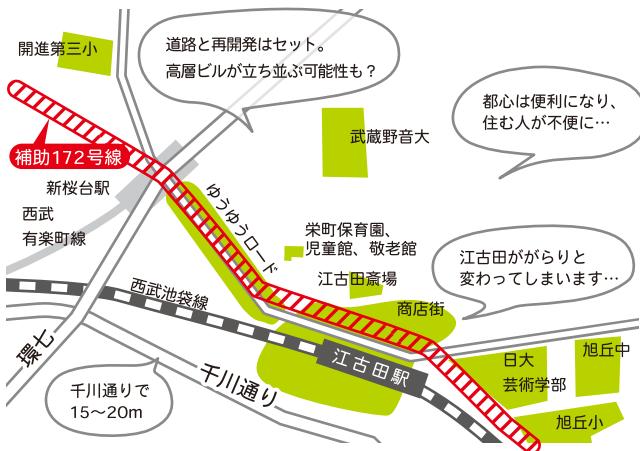
小竹向原駅のエレベーター設置など…
住民だからわかる
“困った”に取り組みます！



「補助 172 号線」で江古田が分断!?

16m 幅の道路で商店街が壊滅?

東池袋から、江古田北口駅前を通り、ゆうゆうロード、新桜台、桜台から笹目通りへ…幅 16m の道路計画。江古田といえば、個性あふれる商店が魅力。その商店街をごそりなぎ倒すのが、172 号の計画です。開三小の通学路にも影響します。



南北で分断!

買い物もしづらく

線路沿いで「黄色い電車」を眺める親子連れは、江古田の日常風景。そのそばに、16m の道路! 北と南が分断され、のんびり歩いての買い物もしづらくなります。子連れや高齢者等にも、厳しく…。

計画は、動いています

1964年という昔の計画が動き出し、西側は豊島園近くの早宮中央通りまで完成。練馬総合運動場の西側までが事業中です。豊島区側も、用地取得が進行中。2020年度までに整備終了の予定に(長崎1~5丁目)。

声をあげ、計画を白紙に!

豊島区が終われば、いよいよ次は、江古田。一度事業が始まれば、止めることは困難です。その前に、声をあげることが大切! 車で通過するためではなく、住む人にとって暮らしやすいまちは、どんな形か。一緒に考え、守っていきませんか?

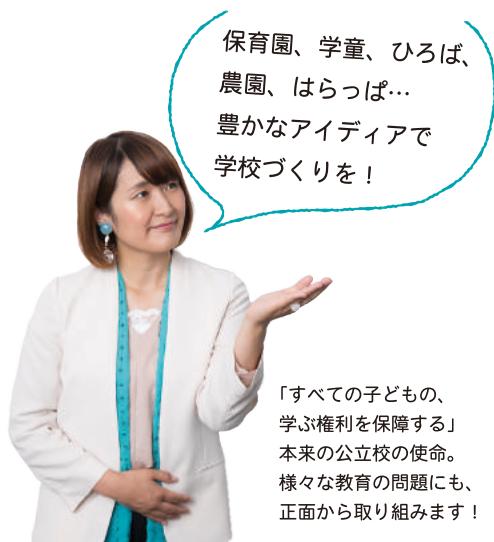
計画は、今ある道路の横。
商店街のド真ん中を潰すことには



話し合おう!! 小竹小・旭丘小・旭丘中の統廃合

区の強引な対応により…

「3校を小中一貫教育校にし、今の旭丘小の位置に建て替える」という区の対応方針案。結局、小中一貫校への共感も広がらず、2020年度まで「調整」を続けることに…。地域の合意がないまま、強引に進めようとした区のやり方はうまくいかず、両学校の間に、溝が残されました。保護者の一人としても、とてもつらい状況です。



どの学校も、愛されている

私は小竹小の保護者で、旭丘小の友人も多くいます。旭丘小が地域に愛されるのと同じように、小竹小も愛されている。分かれても 60 年もたち、新しい駅ができ、各々のコミュニティが根付いています。自分の学校を大切に思う気持ちは、どこも同じ。その地域の思いが、子ども達を守り、育てます。「統廃合しかない」と言う区が、地域や子どもを大切にしていると思えないのです。

旭丘小の児童数は増加中

旭丘小は一時、全学年が短学級に。でも、その後は児童数が増え、2022 年度には 232 人、9 学級になる推計。5 年で 80 人、3 学級も増えるのです。編成を少人数学級とすれば、学級数も増えます。旭丘小=過小規模校という前提から、見直すべきです。



小中一貫教育校のデメリット

3 校が統合すると、小学校で約 600 人、小中で約 800 人に。区の施設移転も予想され、敷地も狭くなります。さらに小中一貫教育校になれば、9 歳差の児童を見る…先生の負担は甚大です。アットホームで落ち着いた旭丘中の環境も、激変します。

よりよい教育環境のために

子どもが増える中、広い遊び場のない江古田で、統廃合は早計! 今必要なのは、子育ての環境を守ること。両方の学校に保育園や学童、子育てひろば等を作り、コミュニティの拠点に。農園、はらっぱ、生涯学習の場など…豊かなアイディアが湧きます。少人数編成の先駆的モデル校として、教育環境をよりよくするチャンスです!

地域と一緒に、考えたい

私が区政への挑戦を決めたのも、統廃合を機に、「地域の声を大切にしたい」との切実な思いから…。地域の皆さんと一緒に考え、話し合い、取り組んでいきたいです。

いぶき号外

発行：市民の声ねりま

市民の声ねりま事務所

〒178-0063 練馬区東大泉 5-6-9

TEL & FAX 03-5933-0108

Email siminnokoe@nifty.com

こうぐち

高口 ようこ 連絡先

Email info@koguchiyoko.net

Web koguchiyoko.net

Facebook fb.com/koguchiyoko/

Twitter @koguchiyoko

あなたの力が
未来を変える

サポーター募集!

